

# 子どもたちに 核兵器のない世界を

核兵器廃絶めざす  
全教メールニュース  
第21号 2009.12.25

全教が教育文化会館エデュカス内のすべての団体に呼びかけ  
「核兵器のない世界を」合同学習会に9団体31人が結集

38人がピース・チャレンジャーに、13人が100筆に挑戦！

「2010年を核兵器廃絶『元年』としてスタートしよう」と、全教は、全労連の学習リーフを使った学習会を、教育文化会館エデュカスのなかにあるすべての団体に呼びかけて、12月22日に開催しました。リーフ作成を担当した全労連国際局長の布施恵輔さんに、「世界の変化をチャンスに、核兵器のない世界の



「変化をつかみ攻勢的に飛躍をつくろう」と核兵器禁止の世界の大勢を語る全労連の布施さん

の実現へ 全労連 500万署名を達成し、被爆国からニューヨークへ核兵器全面禁止の流れをリードしよう」と題して、最新の情勢と世界の運動をまじえてお話をしてもらいました。布施さんは、「核兵器のない世界」を求める声が高まる一方で、進展を妨げる核抑止論の抵抗や惰性、妥協の動きが現れていることを指摘したうえで、それでも国連事務総長が「核兵器禁止条約の必要」と主張するなど全面禁止が世界の大勢となっていることを明らかにし、NPT会議で核兵器全面廃絶の道筋をはっきり示させるには「人々の意志＝署名の持つ力」が重要と、署名のとりくみの幅を広げる、多数派の時代にふさわしい奮闘を訴えました。

学習会には、全教、日高教、都教組、東京母親連絡会など9団体から31人が参加し、その場で11人の方がピースチャレンジャーに応じました。全教と日高教の書記局でも、全国の署名の先頭に立とうと、すでに27人がチャレンジャーに応募しました。応募者には署名推進ボールペンを贈呈しています。全国からも、埼玉県教組から役員連名の応募用紙が届き、京教組からはピースチャレンジャーの組織目標を200人としてボールペンの注文表が来ています。すでに、11月の全国学習交流集会（教組共闘主催）の憲法・平和分科会では、埼玉・山口高・京都・長野長水支部の参加者が100筆チャレンジャーに名乗りをあげています。

各構成組織でも、ピースチャレンジャー目標を確認してボールペンを本部に注文し、ピースチャレンジャー3000人組織をめざして組合員に広げていきましょう。

名護市長選挙での稲嶺さんの勝利へ

## 12・17 沖縄連帯集会で支援カンパと必勝の檄を手渡す

12月17日に東京・星陵会館で行われた緊急集会で、全教は、基地建設の反対を貫く名護市長選予定候補の稲嶺進さんの勝利のため、12月3日の全国委員長書記長会議や書記局で寄せられたカンパを手渡しました。

